

私立大学図書館協会 2013年度第1回東地区部会役員会
議事要録

日 時：2013年4月19日（金） 15：00～16：50

場 所：明治大学 研究棟4階第2会議室

出席校：会長校 立命館大学（平野，白井，高橋）

部会長校 明治大学（金子，菊池，折戸，山崎）

研究部担当理事校 専修大学（平野，斎藤）

分科会更新担当理事校 東京都市大学（坂元）

分科会月例担当理事校 清泉女子大学（阿部）

東北・北海道地区担当 東北福祉大学（本間，中塚）

監事校 立教大学（大串，市村）

前部会長校 明治学院大学（鈴木）

前研究部担当理事校 東京農業大学（合田）

（敬称略）

配布資料：

- ・議事次第
- ・資料1:「私立大学図書館協会 2013年度第1回常任幹事会」(以下,「常任幹事会資料」と記載)
- ・「私立大学図書館協会東地区部会 2013年度第1回役員会」(以下,「役員会資料」と記載)

議事に先立ち、部会長校明治大学より挨拶があった。

議事進行は、部会長校明治大学図書館長が担当し、出席者の自己紹介が行われた。

議事：

1. 報告事項

(1) 東地区部会関係

① 2012年度東地区部会会務報告

部会長校明治大学より、役員会資料（PP.2-5）に基づき、加盟校数が5大学増加し269校になったこと、各種会議の開催について報告がされた。

② 2012年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（PP.6-8）に基づき、以下の報告がされた。

- ・運営委員会は全8回開催され、一部委員が変更したこと
- ・全2回の合同会議では研究会や研究分科会の抱える問題について話し合われたこと
- ・研究会は44校67名が参加し、中間報告が行われたこと
- ・研修委員会は全10回開催され、研修会の内容が話し合われたこと
- ・6研究分科会が活動し、4分科会が休会、1分科会が廃止となったこと
- ・研修分科会は全6回開催され、15名が参加したこと

(2) 第1回常任幹事会報告

会長校立命館大学より、4月12日（金）に開催された常任幹事会について常任幹事会資料（資料1）に基づき、以下の報告がされた。

- 加盟校の増減があり、2013年度の予定加盟校数は現時点で532校であること
- 2013年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員については、下線部が昨年度第2回東西合同役員会以降の変更であること、および、④の大学図書館著作権検討委員会委員は記載の2名に加えて明治大学からも選出予定であること
- 「総会・研究大会案内・受付のメール利用について」昨年度第2回東西合同役員会で承認され、常任幹事会で報告されたこと、および、精度を上げるために年度初めの送付物に案内文を挿入し、メールは5月末に送付する予定であること
- 関西大学および青山学院大学の監査が終了したこと
- 事業計画は例年通りであり、会務の整理について前会長校立教大学に引き続きさらにスリム化することに励むこと

2. 協議事項

(1) 2012年度東地区部会決算報告及び監査報告について

部会長校明治大学より役員会資料（P.10）に基づき決算報告がされ、前監事校青山学院大学にて監査を受けた旨の報告があり、承認された。

(2) 2012年度東地区部会研究部決算報告及び監査報告について

研究部担当理事校専修大学より役員会資料（P.11）に基づき決算報告がされ、予算超過した研修会開催費について説明があった。前監事校青山学院大学にて監査を受けた旨の報告があり、承認された。

(3) 2013年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について

部会長校明治大学より、役員会資料（PP.12-13）に基づき、以下の説明があった。

- 例年通りの活動を基本とするが、東北・北海道地区以外からの役員校選出に向けたアンケート実施など、地域参加館との連携強化について力を入れていくこと
- 休会中の研究分科会についてどのように対応していくか、研究部担当理事校と協力して進めていくこと
- 予算（案）の書式について、昨年度第2回東地区部会役員会の協議を反映させて、予算と決算の科目を合わせるために次年度繰越金という科目を追加したこと、研究部との統一を図りたいこと

研究部担当理事校専修大学より、1.事業計画の「(2) 研修分科会の発展」は研究分科会の間違ひではないかとの質問があり、明治大学より修正すると回答があった。

事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

(4) 2013年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（PP.14-15）に基づき、以下の説明があった。

- 活動内容 3) の (1) 「研究講演会」について、運営委員会での協議の結果、ここに記載することとしたこと
- 予算（案）について、研修会開催費は昨年度超過分を見越して 10 万円増額し、4 分科会が休会しているため、その活動費を削減したこと
- 東地区部会の予算（案）と同様に、次年度繰越金を追記することについて、この場の承認を以って変更すること

事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

(5) 研究部 2013 年度運営委員及び研修委員について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（P.16）に基づき、2013/2014 年度運営委員及び研修委員が決定したことが報告され、承認された。

(6) 2013 年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

部会長校明治大学より、役員会資料（PP.17-27）に基づき、2013 年 6 月 14 日（金）に「2013 年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会」が会場校國學院大学渋谷キャンパスで開催されることが報告された。加盟館に開催案内を送付するにあたり、以下の提案と説明があり承認された。

- 5 月 1 日付で送付し、出欠等の締切日を連休明けの 5 月 10 日（金）とする。
- 館長会については、懇談テーマを図書館マネジメントという視点から「学術雑誌の価格高騰問題と予算編成について」とすること。

部会長校明治大学より、「部会総会および関連諸会議のご連絡について」および「委任状」の文言について一部訂正があった。

研究部担当理事校専修大学より研究講演会について説明があり、承認された。

(7) 東北・北海道地区担当理事校アンケート実施について

部会長校明治大学より、前部会長校明治学院大学が作成した「経緯説明とアンケートのお願い」と「アンケート」を基に、論点の再確認とアンケートの質問内容について説明があった。このことについて、首都圏の大学は今回の提案において直接利害がないことから、アンケートの対象は首都圏以外の 92 校のみを対象に実施すること、および、コスト削減や集計効率のためにインターネットを使うことについて提案があった。また、アンケートと同時に各地へヒアリングに出向くことも検討していると報告があった。

これについて、以下のような意見が挙げられた。

- 当初は東地区部会全加盟館に送る想定であった。全館を対象にしない場合でも、アンケートを実施するということを伝え、総会で報告をして承認を得た方が良好だろう。ブロック制は仮の案であり、アンケートの主旨は反応を見てみることを考えていた。
- 拙速にやるということではなく、2年間かけてじっくり解決していこうと考えている。
- 東北・北海道地区から役員校が選出されるようになった経緯や役割についても事前に説明がされるべきである。
- 西地区の協議会制が上手く回っているのは、歴史的に創られてきた組織体であることが大きく、脱退校が増加している現状、新しい負担を増やすのは受入れ難いことかもしれない。
- 東北・北海道地区というのは理事校の中で唯一目的が違っている。「地区」を代表する理事校を一つ作るのであれば、1エリアだけにしぼる必要はない。

協議の結果、アンケートを実施する前にヒアリングや経緯説明を行うことから始めることとした。

3. 懇談事項

(1) 東地区部会役員校，総会当番校の選出について

部会長校明治大学より、2017・2018年度の東地区部会長校は東海大学から、2015年度総大会当番校は明治学院大学から内諾を得たことが報告された。

以 上